

# 会派研修報告書

会派名 立憲フォーラムたじみ

代表者名 石田 浩 司

1 日 ち	令和元年 10月 4日 (金) 13:00~17:20
2 研修名、主催者及び会場	時事通信社自治体地域セミナー 「地域交通のイノベーション～MaaS構築のために～」 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ホール
3 参 加 者	石田浩司
4 研 修 内 容	持続可能で利便性の高い交通ネットワークの維持・確保のため、交通事業者の経営の連携や多目的化のほか、自動運転、MaaS、AI等新たなモビリティの動きについての研修
5 所感、主な内容、提言事項、課題等	<p>MaaS (Mobility as s Service) とはスマホアプリにより、地域住民や旅行者の一人一人の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。各地域の実情に合わせた実証実験が進んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 日立市のバス専用道 (BRT) 事業 日立電鉄の廃線跡の一部をバス専用道に転用し、渋滞に左右されない、自動運転バスによる高い定時運行性を備えた公共交通機関</li><li>・ 常陸太田市ラストワンマイル 過疎化が進む地域の利用者 (高齢者等) が無人自動走行車を呼び出します。車は利用者に乗せて無人自動走行で最終目的地 (バス停・自宅等) へ送り届けるシステム</li></ul> <p>様々な交通機関 (エアライン・鉄道・新幹線・タクシー・デマンドバス・シェアサイクルなど) をアプリにより繋げることで利便性の向上を図りマイカー移動より低コストの実現</p> <p><b>【所感】</b></p> <p>移動手段はコンパクトシティを進める多治見市として取り組む大きな課題です。あいのりタクシーの普及はもちろんでありますが地域間を移動する手段としてラストワンマイルのような地域間を移動する無人自動車の導入も検討課題ですが多額の財源が必要になります。</p> <p>MaaS の実証実験を通じ、各自治体が行う交通政策を注視し、実現可能なものは検討としていくことが求められます。</p> <p>多治見市ではタクシーの台数が少なくなり、配車に時間がかかる状況から、自家用有償旅客運送の改正を求め、地域住民で地域間の移動手段を行えることが求められていくと考えます。</p>

6 写 真 等

※視察の場合は必須、研  
修の場合は任意



※視察先、研修先ごとに1枚作成すること。